

片岸地区 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成28年12月6日（火） 18：30～

場所：釜石市鵜住居町

南三陸国道事務所 2階 大会議室

次 第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の主旨とこれまでのふりかえり
3. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ①片岸地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
 - ②宅地引渡しスケジュールについて
 - ③復興公営住宅について
4. 宅地引渡し可能時期のお知らせについて
5. 宅地品質の考え方について
6. 土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール（案）について
7. 町界、町名の変更と住居表示について
8. 住宅再建に係る補助制度について
9. 片岸産業道路整備事業について
10. 鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について
11. 県道吉里吉里釜石線について
12. 意見交換

1. 市長からの挨拶

2. 本日の主旨とこれまでの振り返り

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

今回のまちづくり協議会では、現在の工事の進捗状況及び復興公営住宅戸建ての入居スケジュールの見直し案についての説明と、その他片岸地区で整備を行う事業などの説明をさせていただきます。

片岸地区では、これまでに、復興まちづくり協議会・地権者連絡会を5回開催させていただいており、その中での主だった項目をご説明します。

これまでの経緯

○平成25年6月23日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・復興事業実施スケジュールについて
- ・県道吉里吉里釜石線の整備について ほか

○平成25年9月28日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・土地区画整理事業スケジュールの見直しについて
- ・土地区画整理事業の進捗について ほか

○平成26年4月24日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
- ・土地区画整理事業の進捗状況について
- ・工事計画等について

○平成27年3月4日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・工事進捗状況及びスケジュールについて
- ・災害復興公営住宅について
- ・産業道路整備事業及び雨水排水整備事業について ほか

○平成28年3月30日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- ・工事進捗状況及びスケジュールについて
- ・他の復旧・復興事業について ほか

3. 工事進捗状況及びスケジュールについて

3.-① 片岸地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要

現在の片岸地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要について説明させていただきます。

片岸地区 計画図

【計画の考え方】

◆安全・安心の確保

- ①市街地は平均1.1m程度嵩上げ
- ②国道45号を円滑な線形に整備
- ③水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
- ④公園は、市民の利便性を考慮し配置
- ⑤道路整備に併せて、上下水道施設を整備
- ⑥宅地が区画道路に接道するように配置

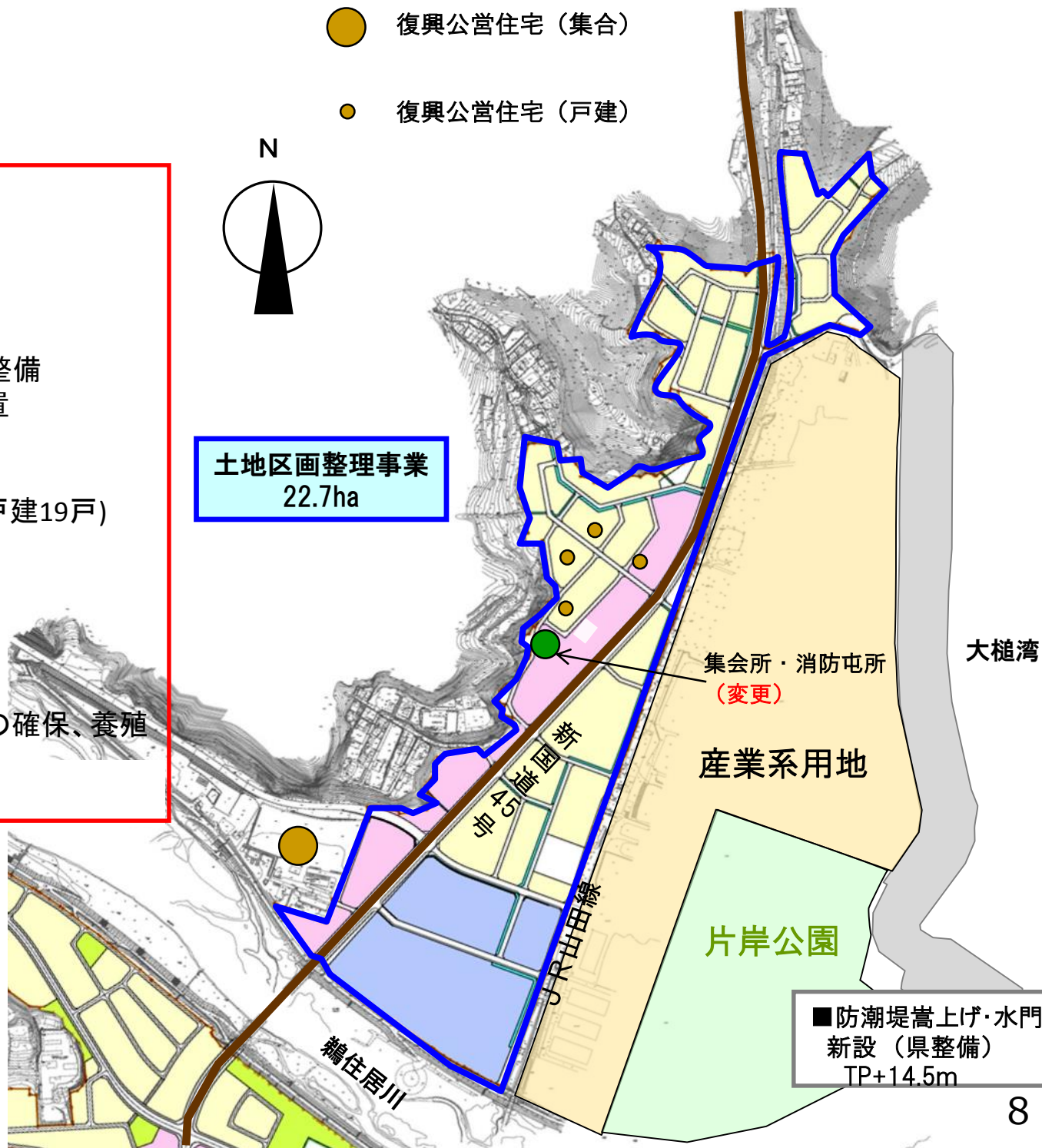
◆公共施設の整備

- ①復興公営住宅の整備(集合17戸:県、戸建19戸)
- ②集会施設、消防屯所(変更)の整備

◆産業の再生

- ①企業の立地
- ②国道45号沿線への事業所等の立地
- ③漁港の復旧、漁港施設の整備、漁船の確保、養殖漁場や漁業関連施設等整備

※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。



宅地造成状況



片岸地区新国道45号整備状況 (一部供用開始)



片岸地区新国道45号整備状況 (一部供用開始)



小中学校建設状況



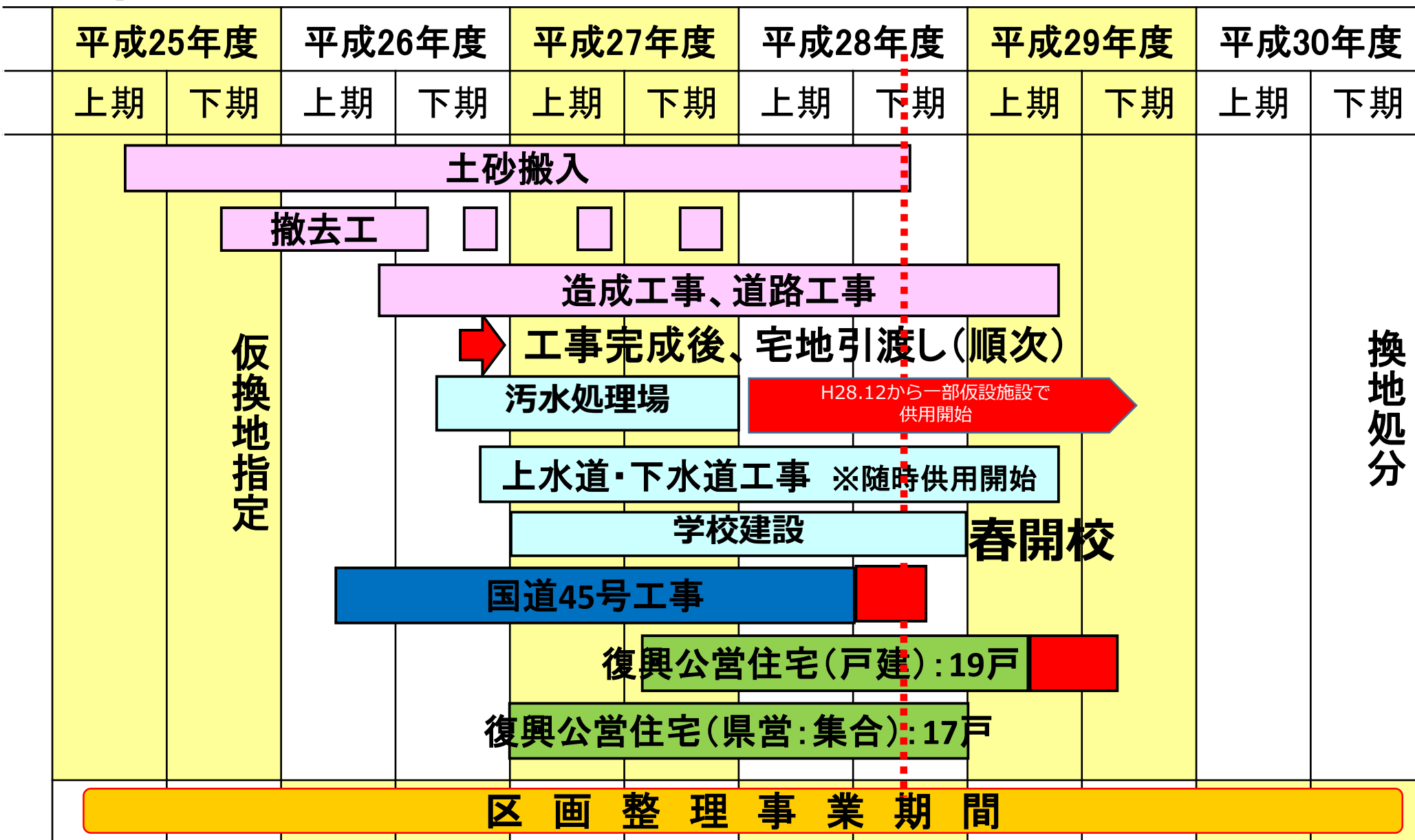
復興公営住宅建設状況



工事スケジュール

現在

片岸地区



※ 状況に応じて変更することがあります。

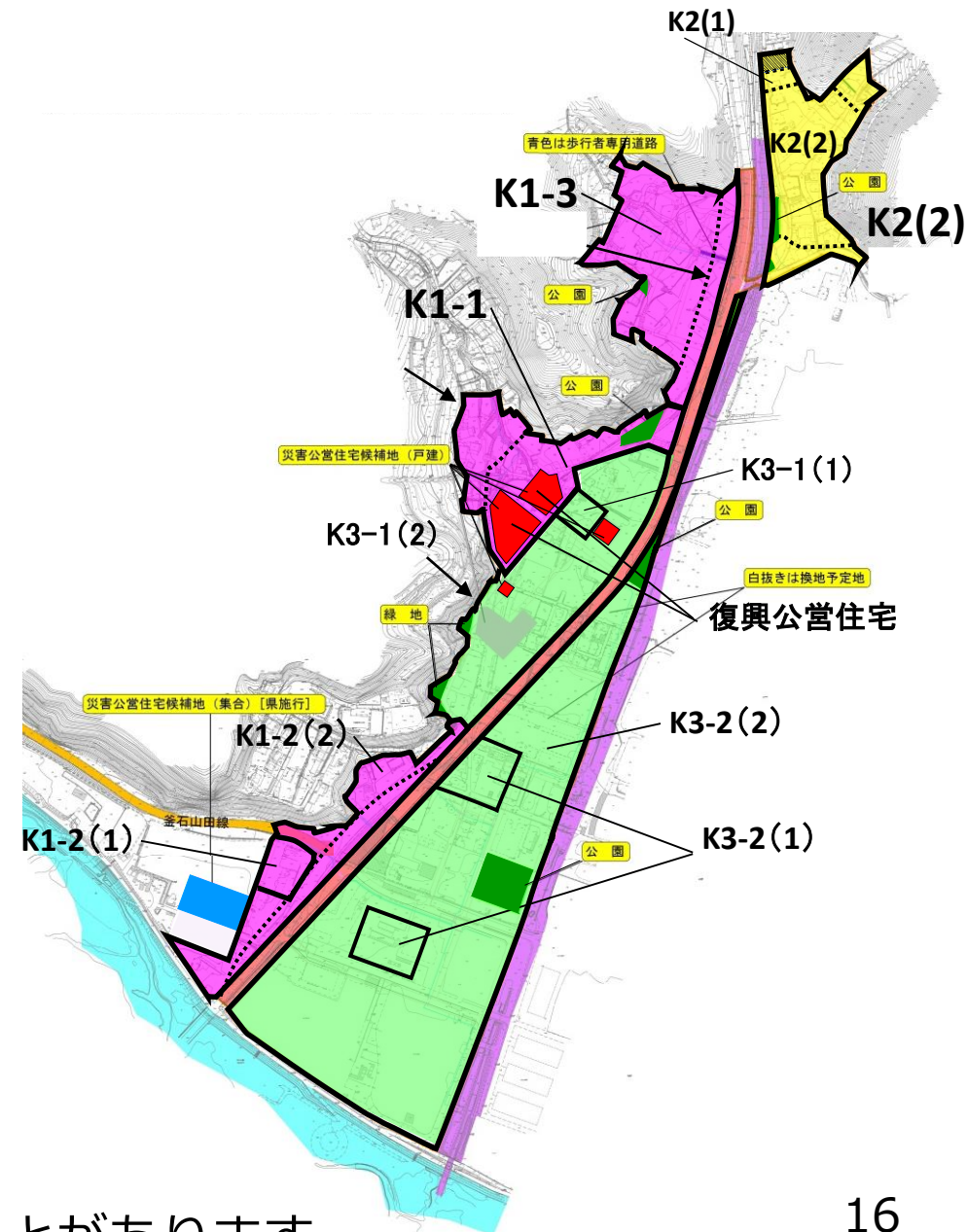
3.－② 宅地引渡しスケジュールについて

前回のまちづくり協議会（平成28年3月開催）で説明させていただいたブロックごとの宅地引渡しスケジュールに変更はありませんが、復興公営住宅戸建19戸の入居スケジュールの見直し案などについて説明させていただきます。

宅地引渡しスケジュールの見直し（案）

変更なし

H26		H27		H28			H29				
1	12	1	12	1	6	7	12	1	6	7	12
K2(1)		K1-2(1)		K2(2)			K1-1				
		K3-1(1)					K1-2(2)				
							K1-3				
K3-2(1)				K3-2(2)			K3-1(2)				



※ 状況に応じて変更することがあります。

3.-③ 復興公営住宅について



変更あり

片岸地区復興住宅戸建（市営）
戸数：19戸
入居予定：平成29年11月

変更なし

片岸地区復興住宅集合（県営）
戸数：17戸
入居予定：平成29年3月

※現時点での計画であり、今後変更される可能性があります

3.－③ 復興公営住宅について

市が整備する片岸地区の復興公営住宅は木造戸建タイプ19戸の予定です。

以下の理由により、復興公営住宅建設予定地周辺の宅地造成及び復興公営住宅の建築スケジュールに影響し、**入居予定**が平成29年7月から**約4か月遅延**し、平成29年11月の予定です。

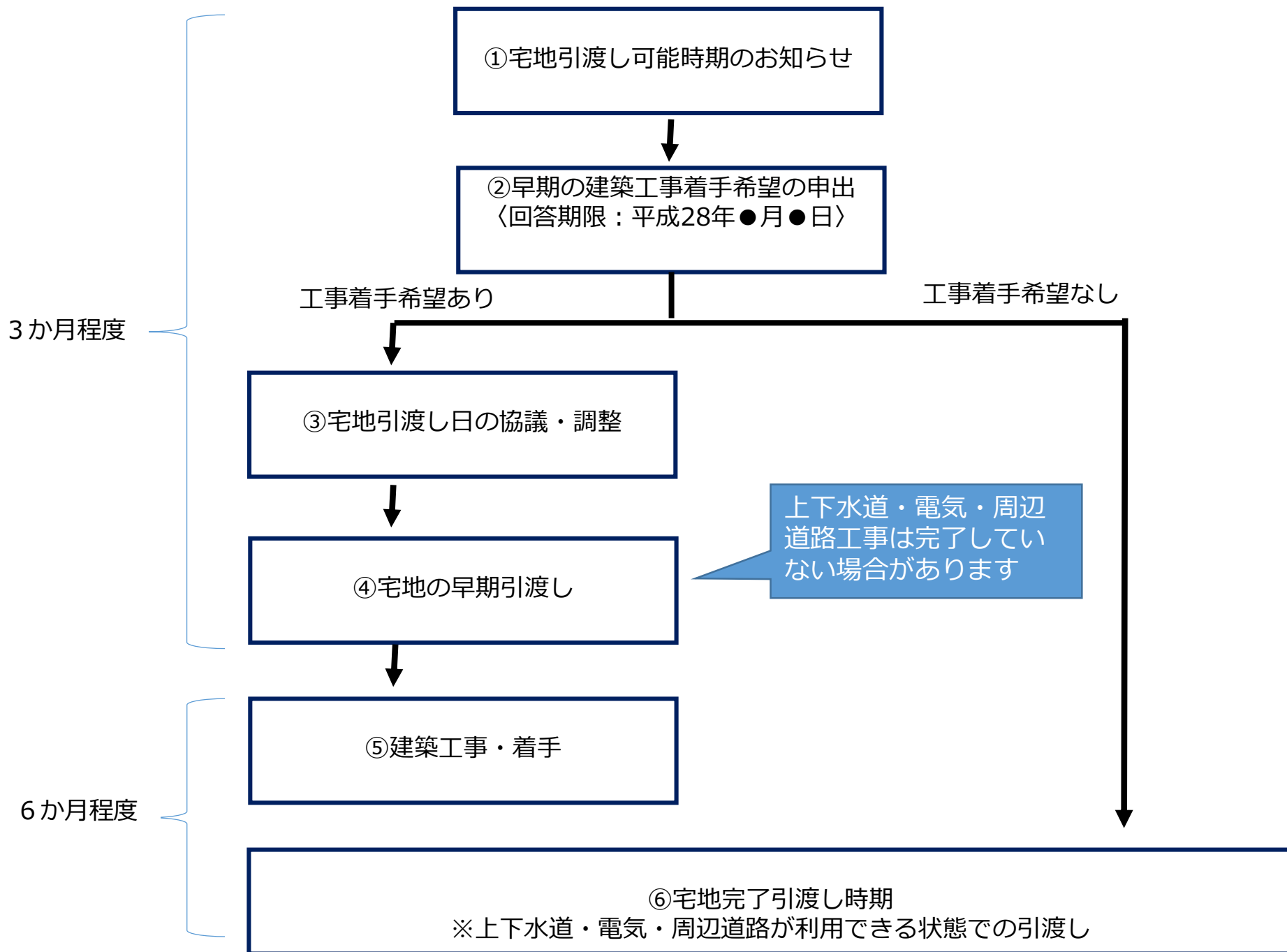
- ・ 区画整理事業における建物移転及び移転先の整備計画等の協議期間による遅延
- ・ 敷地が傾斜地のため、二次整地としての擁壁設置に伴う工事期間の精査及び、擁壁による各戸建宅地への工事進入路の制限等に伴うインフラ整備と住宅建設工事調整期間の精査による遅延

住宅が完成しましたら内覧会の上、部屋決め抽選会等を実施する予定です。

4. 宅地引渡し可能時期のお知らせについて

土地区画整理事業における「宅地引渡し可能時期のお知らせ」について説明いたします。

4. 宅地引渡し可能時期のお知らせについて



5. 宅地品質の考え方について

土地区画整理事業における「宅地品質の考え方」について説明いたします。

5. 宅地品質の考え方について

1. 震災復興事業における盛土による宅地のつくりかた

◆盛土による宅地は以下の手順で作ります。

(1) 現況の土地を調べる

盛土する土地の強さを調べるために片岸地区で8箇所のボーリング調査等を行いました。

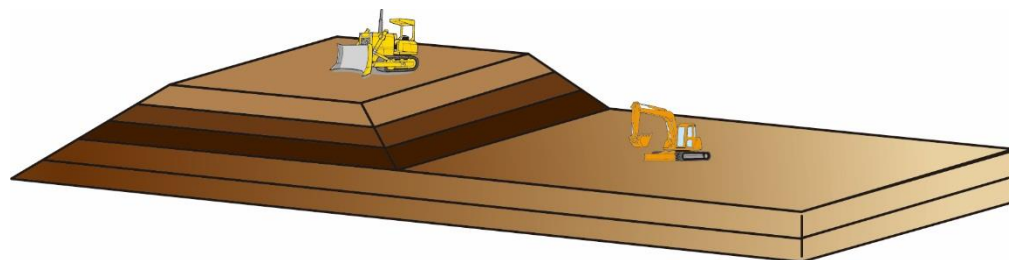


(2) 盛土する土を調べる

試験室で土の強さや粒径などを調べ、宅地盛土に適した土を使います。

(3) 土を盛る

運ばれた土は一度に山のように盛らずに少しずつ盛っては建設機械で固める作業を繰り返して盛っていきます。

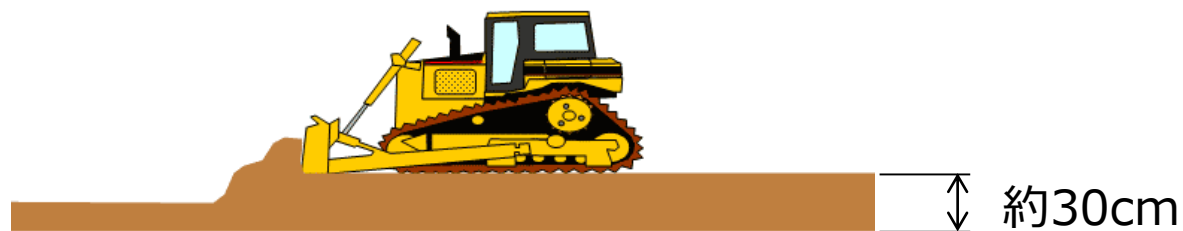


5. 宅地品質の考え方について

◆土を盛る方法

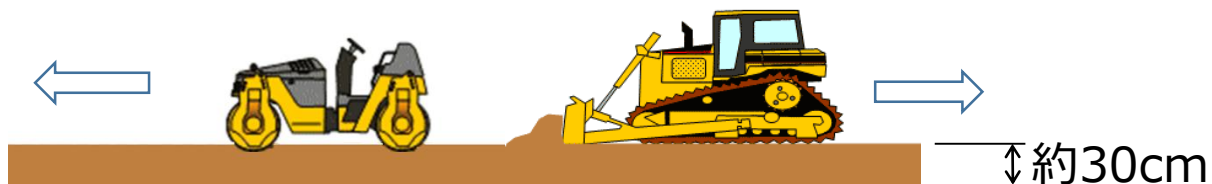
(1) 土の敷（しき）ならし

約30cmの厚さで水平に土を敷
ならしていきます。



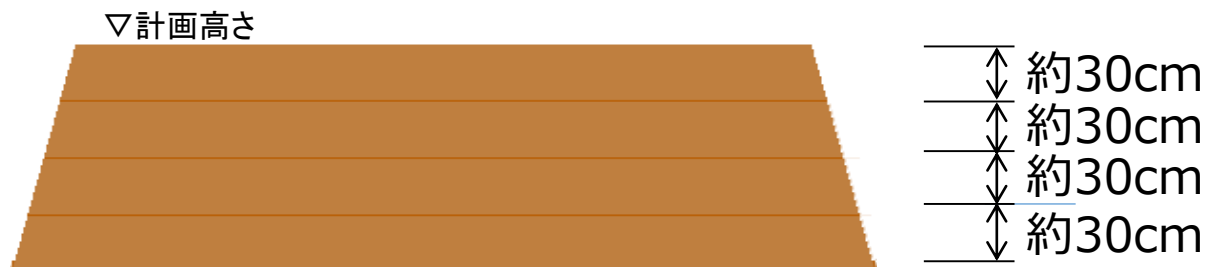
(2) 土の締固め（転圧）

敷ならした土の上を重機で締
固めていきます。



(3) 「(1)」「(2)」 を繰り返して土を盛る

計画高さになれば盛土による宅
地の完成となります。



5. 宅地品質の考え方について

2. 盛土による宅地において考えられる課題について

宅地が沈まないか（地盤沈下）

盛土前の地盤がやわらかいと盛土の重みで地盤が沈むことがあります。

その防止策として、盛土をする前に地盤の状態を調べて、やわらかい場所には、盛土による荷重をかけて、沈下をおさめてから宅地の引き渡しを行います。

3. 盛土の安全性を確認するための品質管理

◆盛土工事中の施工管理

盛土の施工中は、確実に締め固められているかを確認するために密度測定試験を行います。盛土の品質を満足するための管理基準は下記のとおりです。

- ・ 締固め度 87%以上
- ・ 地盤支持力 30kN/m²以上

その他、材料のバラツキを管理するために最大粒径と粒度分布を管理します。

〈用語の説明〉

- ◆締め固め度：土が最も締まる状態との密度の比率
- ◆地盤支持力：建物を支えられるだけの地盤の耐力

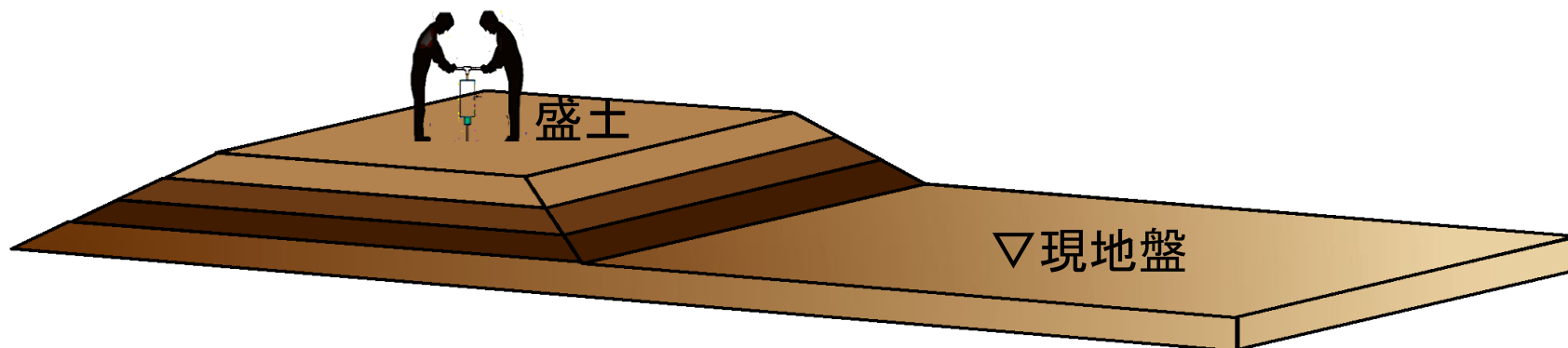


密度測定試験

5. 宅地品質の考え方について

◆盛土工事完了後の品質管理

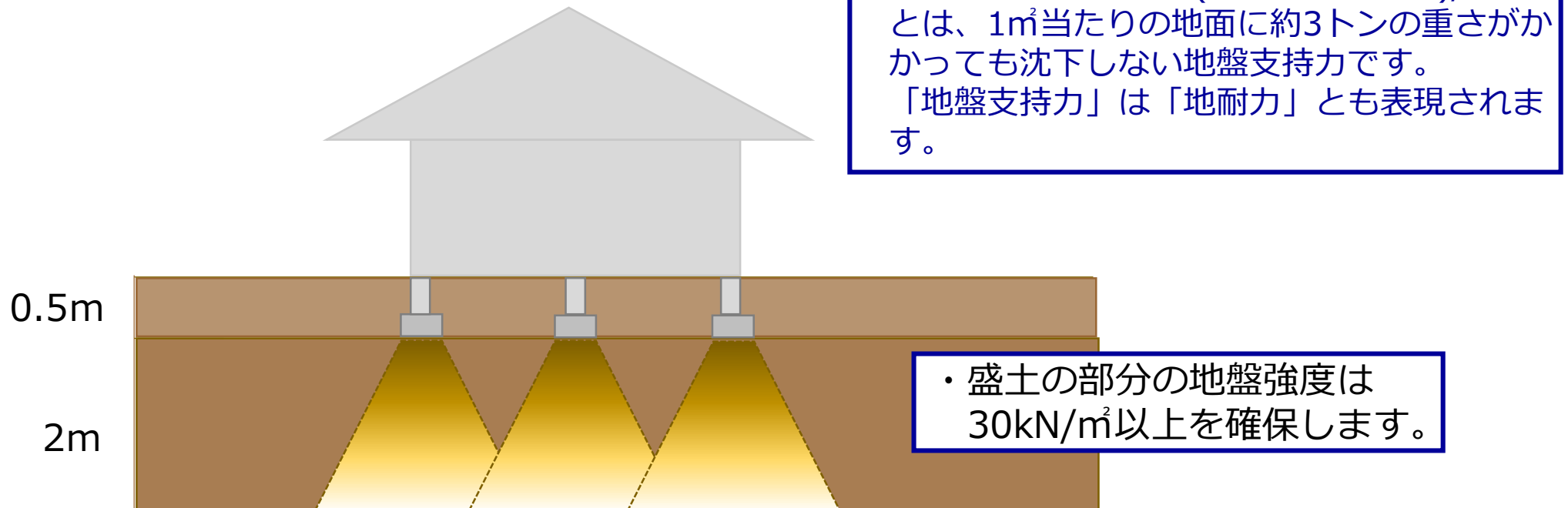
盛土工事完了後、盛土の強さをスウェーデン式サウンディング試験で、一宅地ごとに試験を行い確認します。



スウェーデン式サウンディング試験

5. 宅地品質の考え方について

- ・盛土工事の部分は、建築基準法上、2階建木造住宅を布基礎で建築することが可能な地盤支持力（ 30kN/m^2 以上）を確認して盛土工事を行っています。
- ・2階建木造住宅の場合、おおよそ基礎底面から2m程度でほとんど建物荷重が分散します。
- ・基礎底面からの建物荷重分散イメージ



5. 宅地品質の考え方について

- 盛土工事前の地盤がやわらかいと盛土の重みで地盤が沈むことがあります。
- その防止策として、盛土をする前に地盤の状況を調べて、やわらかい場所には※**あらかじめ盛土を余分に盛り**、重さをかけて沈下をおさめてから宅地の引き渡しを行います。

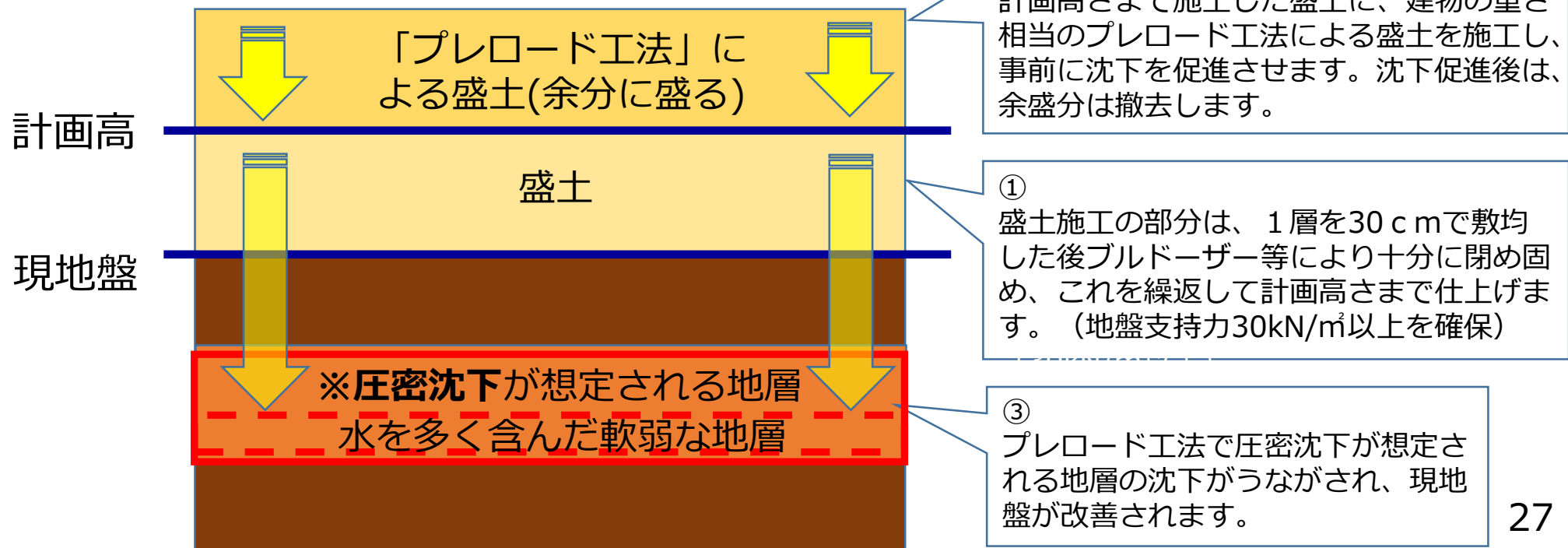
※**あらかじめ盛土を余分に盛るとは**、

「プレロード工法」といって軟弱地盤対策の工法の一つ。予め地盤に圧力をかけて※**圧密沈下**を促進させ有害な沈下を防止すると共に、地盤強度の改善を図る工法です。

※**圧密沈下とは**、

水を多く含んだ地盤の上に建物などを建築した際、その荷重で土中の水が抜け、体積が減少することによって生じる沈下の現象です。

【盛土工事前の地盤がやわらかい場所での盛土のしかた】



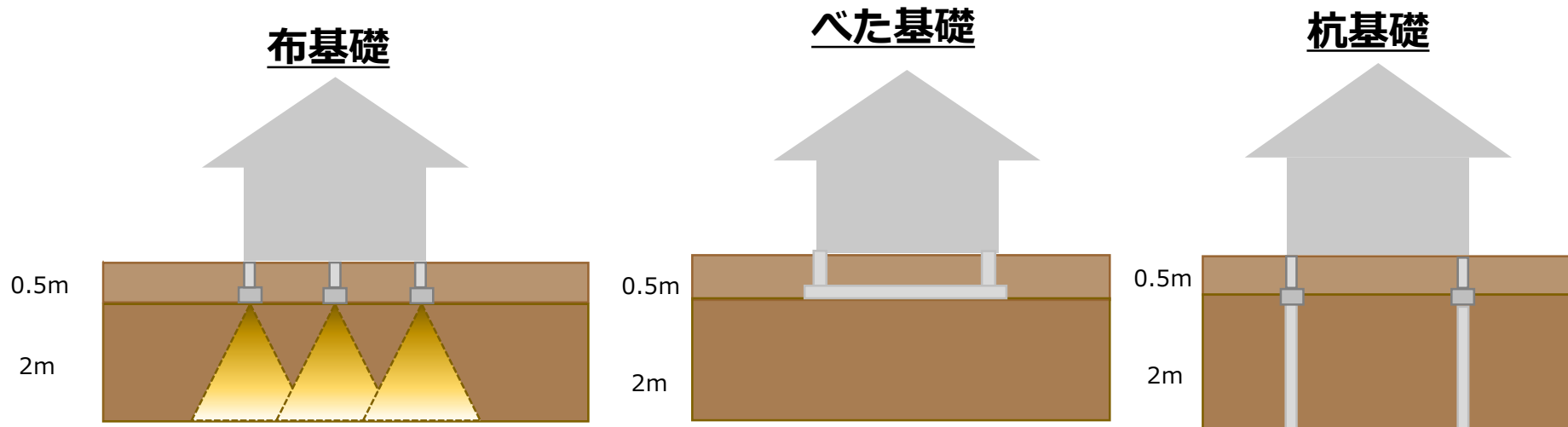
5. 宅地品質の考え方について

- ・ 建築基準法や小規模建築物基礎設計指針等を踏まえて適切な盛土工事を行っておりますが、住宅の設計時に、**建築事業者がより安全な住宅を建築するために「地盤補強」や「べた基礎」などの基礎構造を推奨する可能性があります。**
- ・ 地盤補強等を行うか、については建築主の判断となり、**補強等を行うこととした場合は建築主の費用負担が発生します。**

【住宅の基礎構造等の例】

建築基準法上、構造検討
に応じた必要最小限の基礎
≡布基礎の場合

必要最小限以上の、より
安全のための基礎構造を推
奨する場合の例



6. 土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール（案）について

片岸地区土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール（案）について説明いたします。

★換地計画の縦覧・決定

区画整理審議会、評価員の意見を聴いて換地設計、清算金等を定めます。

★換地処分の公告

公告の日の翌日から従前の宅地にあった権利・義務は、すべて換地先に移ります。

★土地・建物の登記

換地処分の公告後、施行者が権利者に代わって、土地建物の登記を行います。

★清算金の徴収・交付

施行地区内の換地相互間に生じた不均衡を金銭により是正するものです。

6. 土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール (案) について

H28年度			H29年度				H30年度				H31年度			
						★宅地引渡完了		★換地計画の縦覧・決定	★換地処分通知発送	◎換地処分の公告 ★土地建物の登記	★清算金決定通知書発送	★清算金徴収交付		
造成工事 ブロックごとに随時宅地引渡し														

7. 町界、町名の変更と住居表示について

区画整理の換地処分の時期に合わせた、地区の町界（地割界）、町名の整理の必要性について説明いたします。併せて、住居表示制度の概要について説明いたします。

今後、地元説明会を開催し、皆さまのご意見をお聞きしながら進めてまいります。

7. 町界、町名の変更と住居表示について

町界、町名の変更の必要性

- ・区画整理事業により、新たに道路や公園等を整備し、土地の形状を整えたことにより、元々の道路、河川、水路等に沿って定めた町界（地割界）線が実態にそぐわなくなっています。
- ・そこで、区画整理事業の換地処分に合わせ、事業により整備した道路等で町界線を引き直す「町界の変更」を行う必要があります。
- ・また、地番についても町界線を引き直した後、すべての土地について町ごとに順序よく新しい地番が振り直されます。したがって、町名が変更されない地域につきましても、すべての土地の地番が変更対象となりますので、地区内の皆様の住所（所在地）の表示が変更されます。

住居表示とは

住居表示は、次の2つの工程を経て、住所をわかりやすく表そうとするものです。

○町界・町名の合理化

わかりにくい町界と町名をわかりやすいものにする

○街区番号と住居番号の設定

地番に代えて、住所を表すための番号を設定する

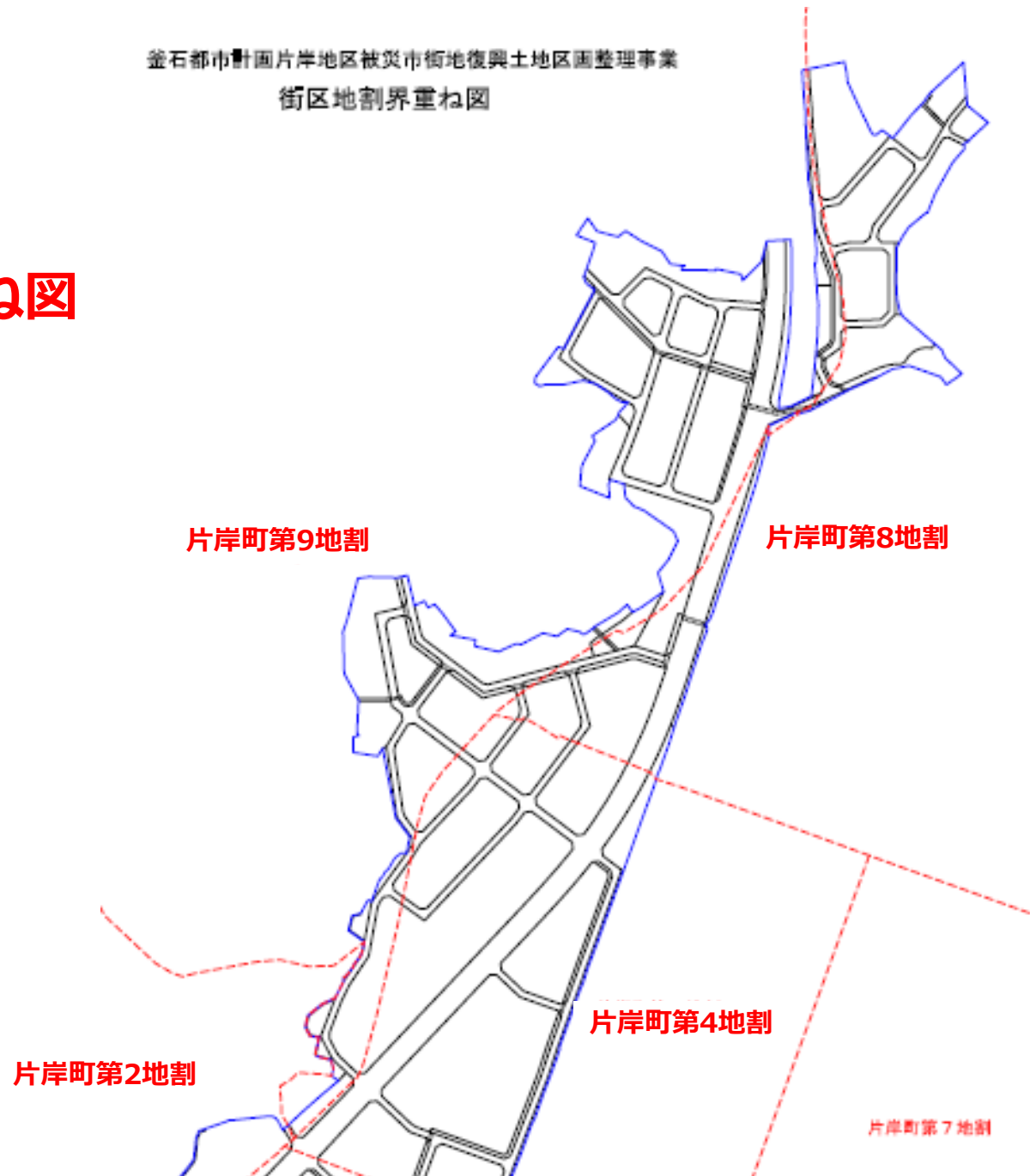
これまで、町地割・地番を住所としていた地域で住居表示を実施すると、○○町△番□号というように、新町名・街区番号・住居番号の3つで住所が表示されることとなります。

7. 町界、町名の変更と住居表示について

釜石都市計画片岸地区被災市街地復興土地区画整理事業
街区地割界重ね図

街区地割界重ね図

下図：計画図
赤線：従前地割界



7. 町界、町名の変更と住居表示について

町界、町名の変更

○従前の土地

釜石市 片岸町第●地割 ■番▲

町名

地番

○換地処分後の土地

町名を変更しない場合

釜石市 片岸町第●地割 △△

※町界（地割界）の変更は必要

新地番

町名を変更する場合

釜石市 ○○町□丁目 △△

新町名

新地番

住居表示実施の場合

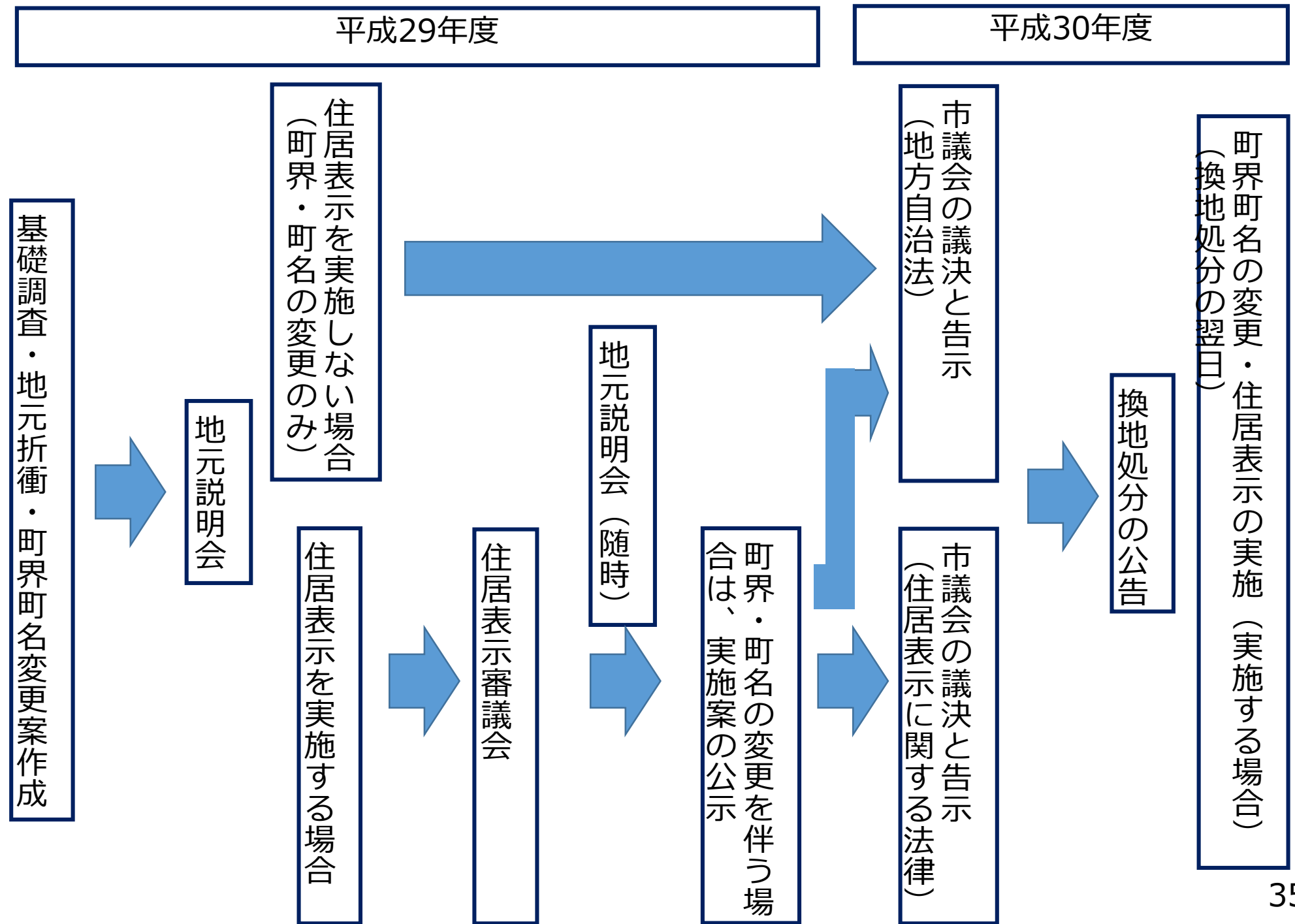
釜石市 ○○町□丁目 ○番 ○号

新町名

街区番号

住居番号

7. 町界、町名の変更と住居表示について



8. 住宅再建に係る補助制度について

片岸地区の被災者の住宅再建についての補助制度をご説明いたします。

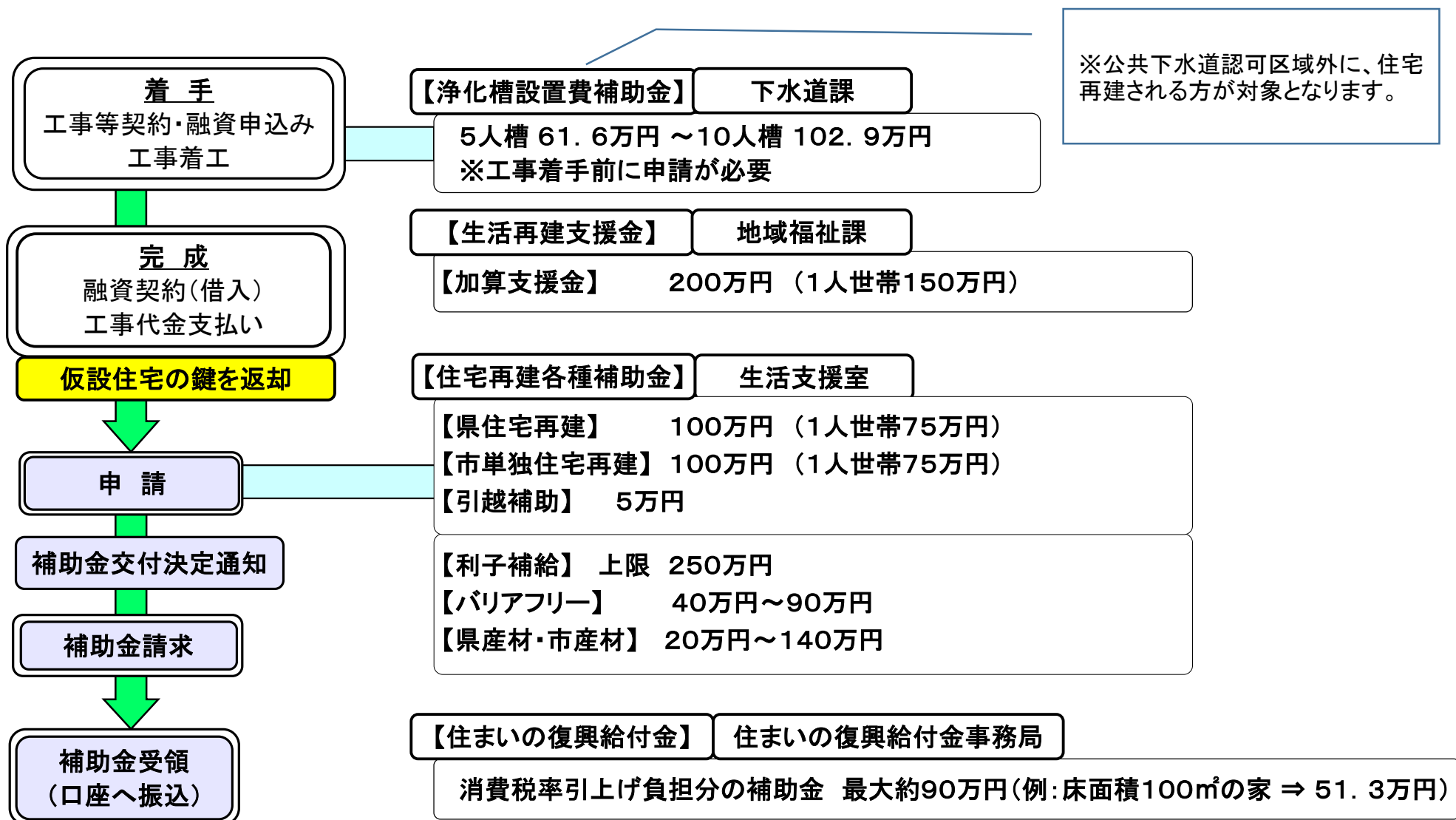
補助制度は世帯によって、また該当する制度によって受給できる金額がそれぞれ異なっております。

なお、補助金の説明について、金額は最大値で行っております。

本協議会終了後に個別に相談をお受けします。また、お電話等でも随時対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

また、平成28年12月18日（日）に大町：青葉ビルで【住宅再建相談会】を行いますのでどうぞご利用ください。

住宅再建補助金の手続き



住宅再建補助金の手続き

住宅再建の相談窓口

【生活支援室】

TEL 0193-22-2111(内線436)

市役所第5庁舎1階

【地域福祉課】(加算支援金)

TEL 0193-22-0177

①のぞみ病院2階

②市役所第5庁舎1階

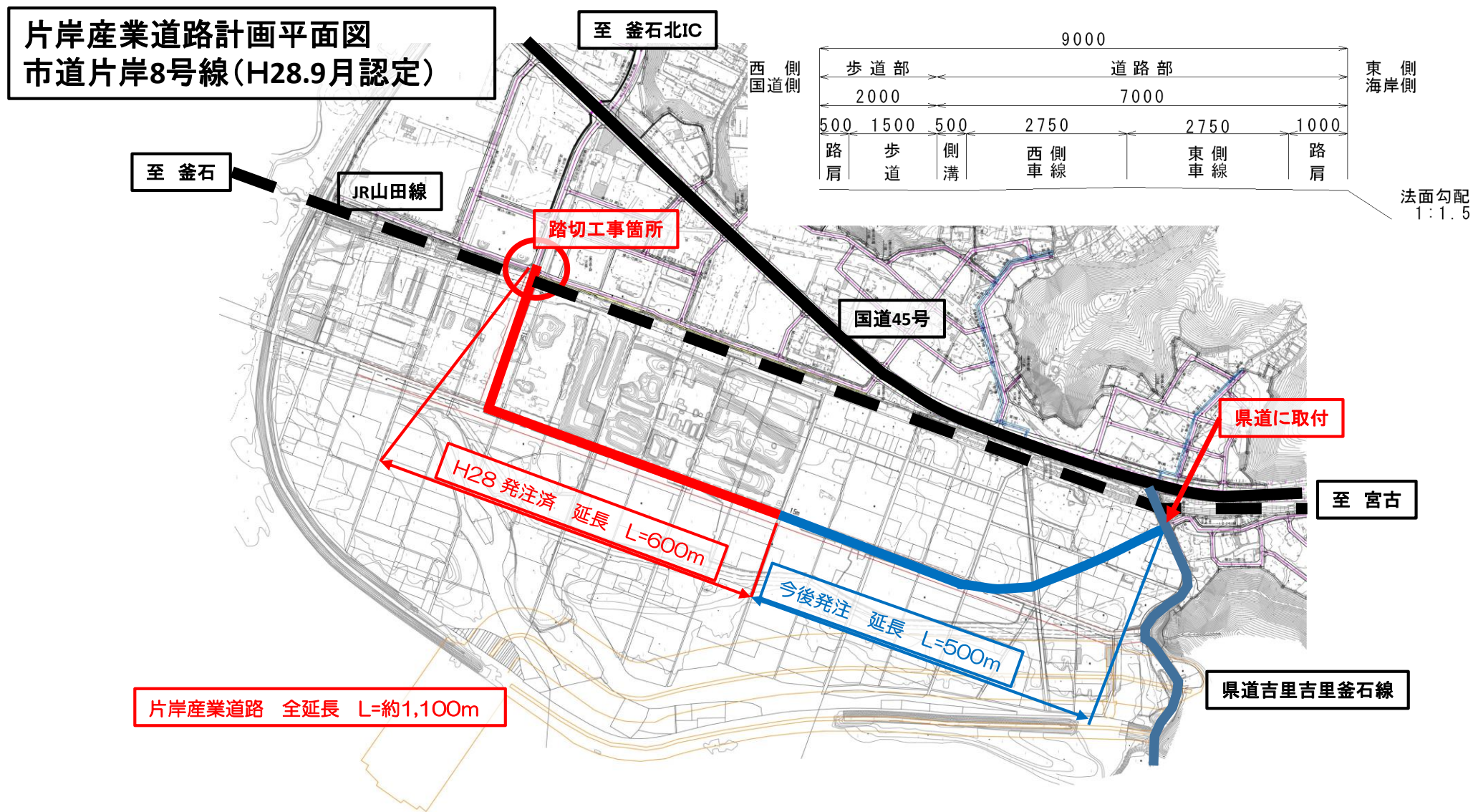
【下水道課】(浄化槽設置費補助金)

TEL 0193-22-1061

【すまいの復興給付金事務局】

TEL 0120-250-460

9. 片岸産業道路整備事業について



9. 片岸産業道路整備事業について

片岸産業道路工程予定表
市道片岸8号線(H28.9月認定)

今現在 H28.12月

	平成28年度												平成29年度											
	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月		
産業道路工事 発注準備																								
産業道路 工事期間																								
用地交渉																								
踏切設計																								
踏切工事 発注準備																								
踏切 工事期間																								

9. 片岸産業道路整備事業について

片岸産業道路 現況と今後（案）

- 現在の状況
 - 町内会役員による現場立会、役員会を実施済
 - 新設踏切箇所から、600mを発注済
 - 残発注箇所の設計中
 - 新設踏切の土木設計が完了
 - 用地取得の為、各地権者交渉
- 近日のスケジュール
 - 現在発注工事箇所の盛土開始
 - 新踏切の工事発注調整（市、JR東日本）
 - 用地取得の為、各地権者交渉継続

役員との現場立会状況



役員会実施状況



10. 鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について (沿岸広域振興局土木部)

凡例

■ 水門土木工事 H26. 3～H31.3
■ 水門設備工事 H26.10～H31.3

大槌湾

■ 片岸海岸防潮堤

■ 鵜住居川水門

土砂運搬径路

↑ 鵜住居川

国道45号

凡例

完了 仮締切堤工事 H25.8～H27.3

完了 仮締切堤その2工事 H26.1～H27.3

防潮堤工事 H26.10～H31.3

←--- 土砂運搬径路

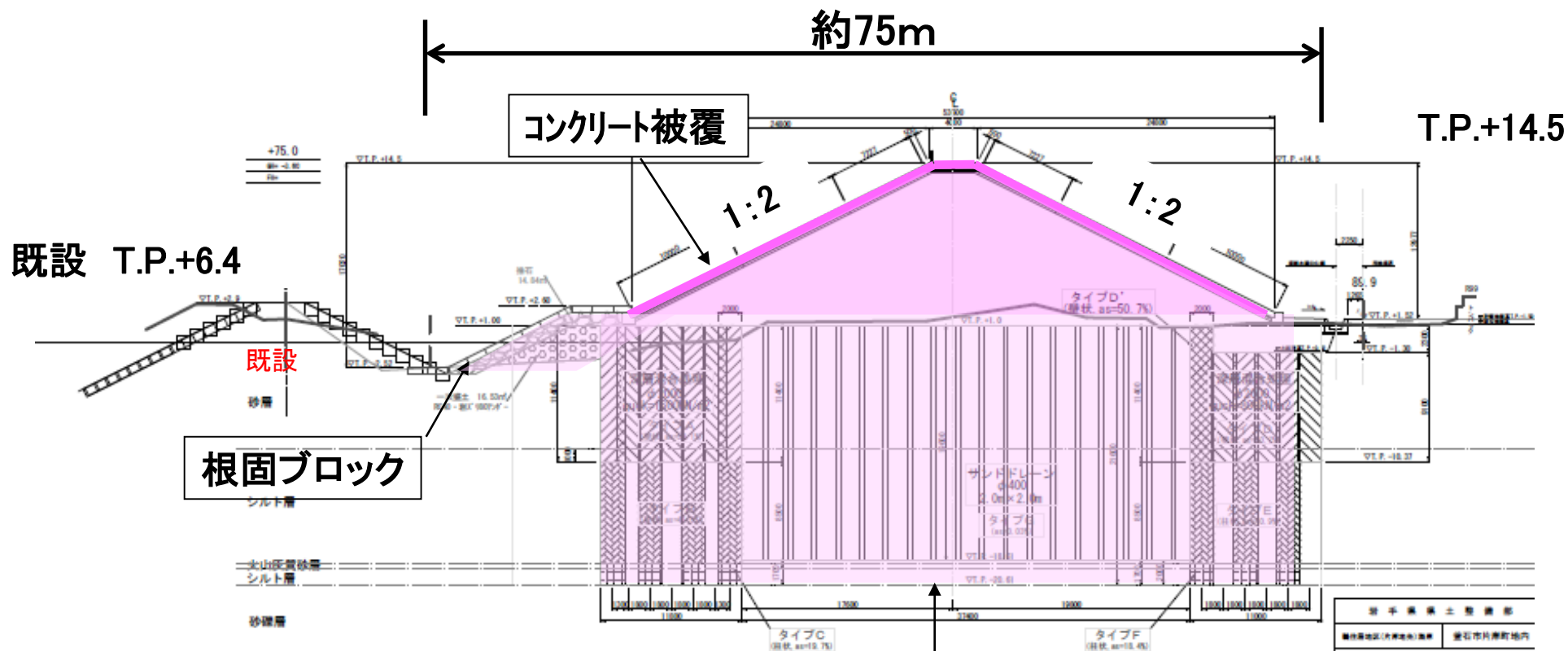
至 大槌町

至 釜石市内

標準横断図

(海側)

(陸側)



※法面被覆構成

①表法面被覆工
(コンクリート被覆式)

コンクリート被覆 t=50cm

裏込コンクリート t=10cm

裏込材 (RC-40) t=20cm

↑ 吸出防止材

片岸海岸防潮堤

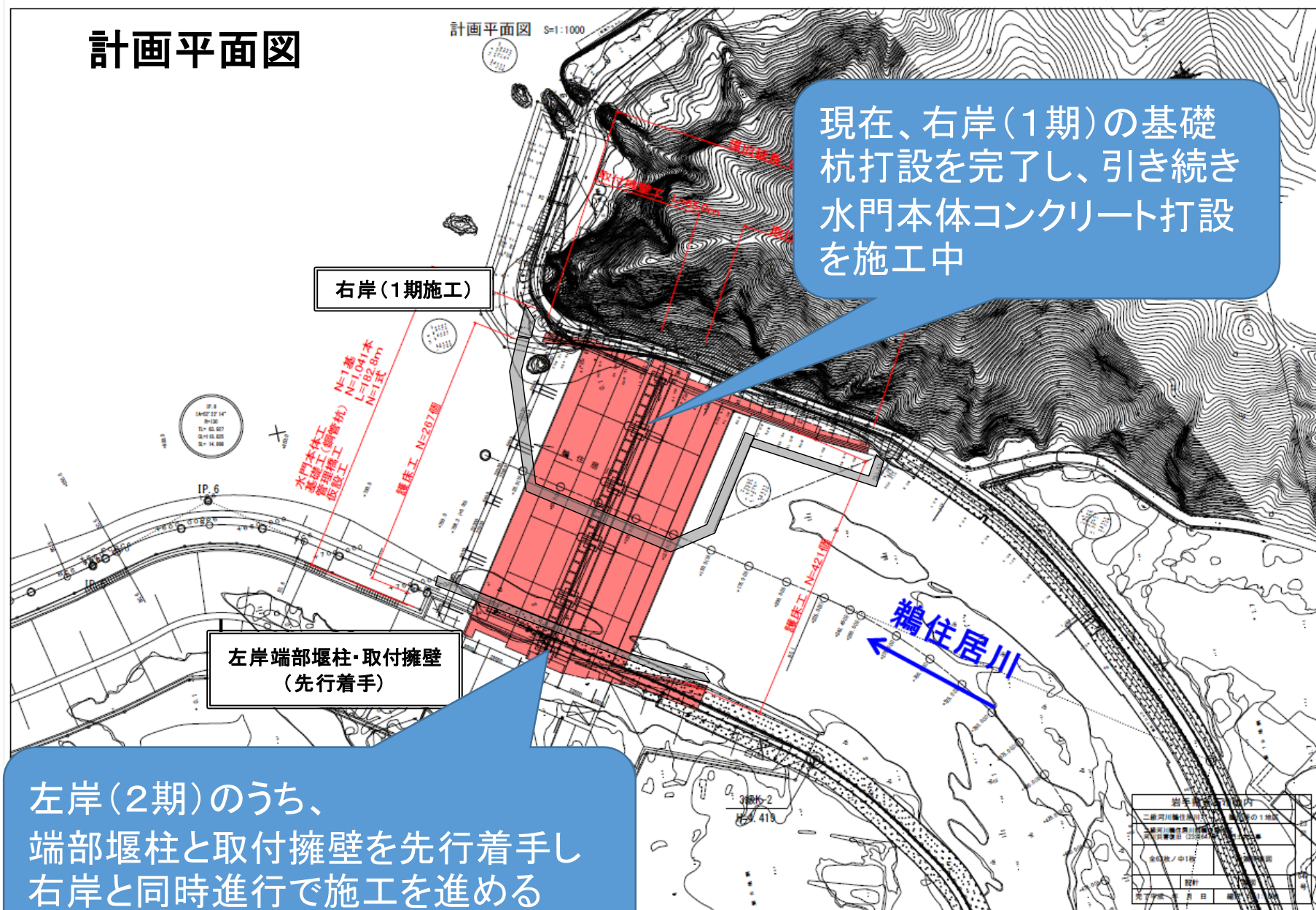
現場状況写真(防潮堤盛土工、排水樋管工)



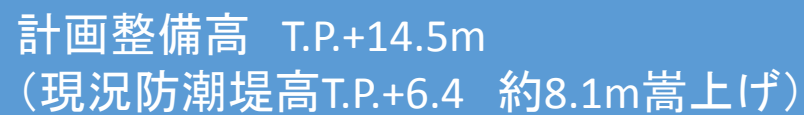
H28.11.7撮影

鵜住居川水門

計画平面図



左岸(2期)のうち、
端部堰柱と取付擁壁を先行着手し
右岸と同時進行で施工を進める



現場状況写真(右岸側 水門本体コンクリート打設)



H28.10.24撮影



鵜住居川水門



10月末の進捗写真

片岸海岸防潮堤

11. 県道吉里吉里釜石線について (沿岸広域振興局土木部)

県道吉里吉里釜石線について

- ① 鉄橋の改築
（山田線ガード下）
- ② 道路工事の進捗

① 鉄橋の改築

(前回説明)

①-1 鉄橋を改築
⇒ 空頭高4m確保

(今回説明)

①-2 新しい鉄橋
①-3 新しい国道交差点
⇒ 交差角改善

①-1：鉄橋を改築、空頭高4m確保

桁の薄い橋に改築し、空頭高4m確保



救急車
消防車
(CD-I)
車高：2.8m

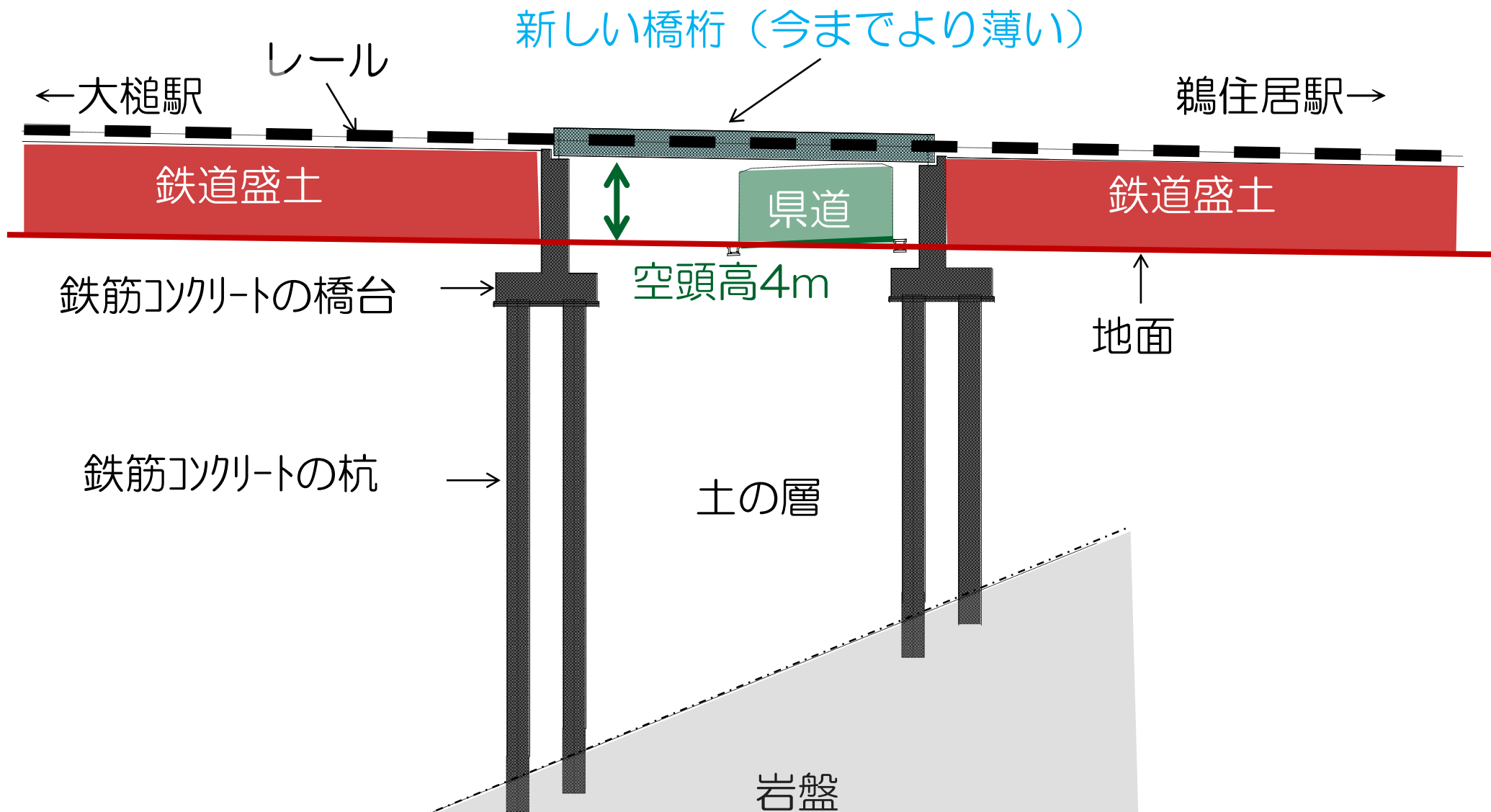
消防車
・救助工作車
・水槽付きポンプ車
・化学消防ポンプ車
車高：3.1～3.7m

重機の
トロー運搬
車高：3.8m



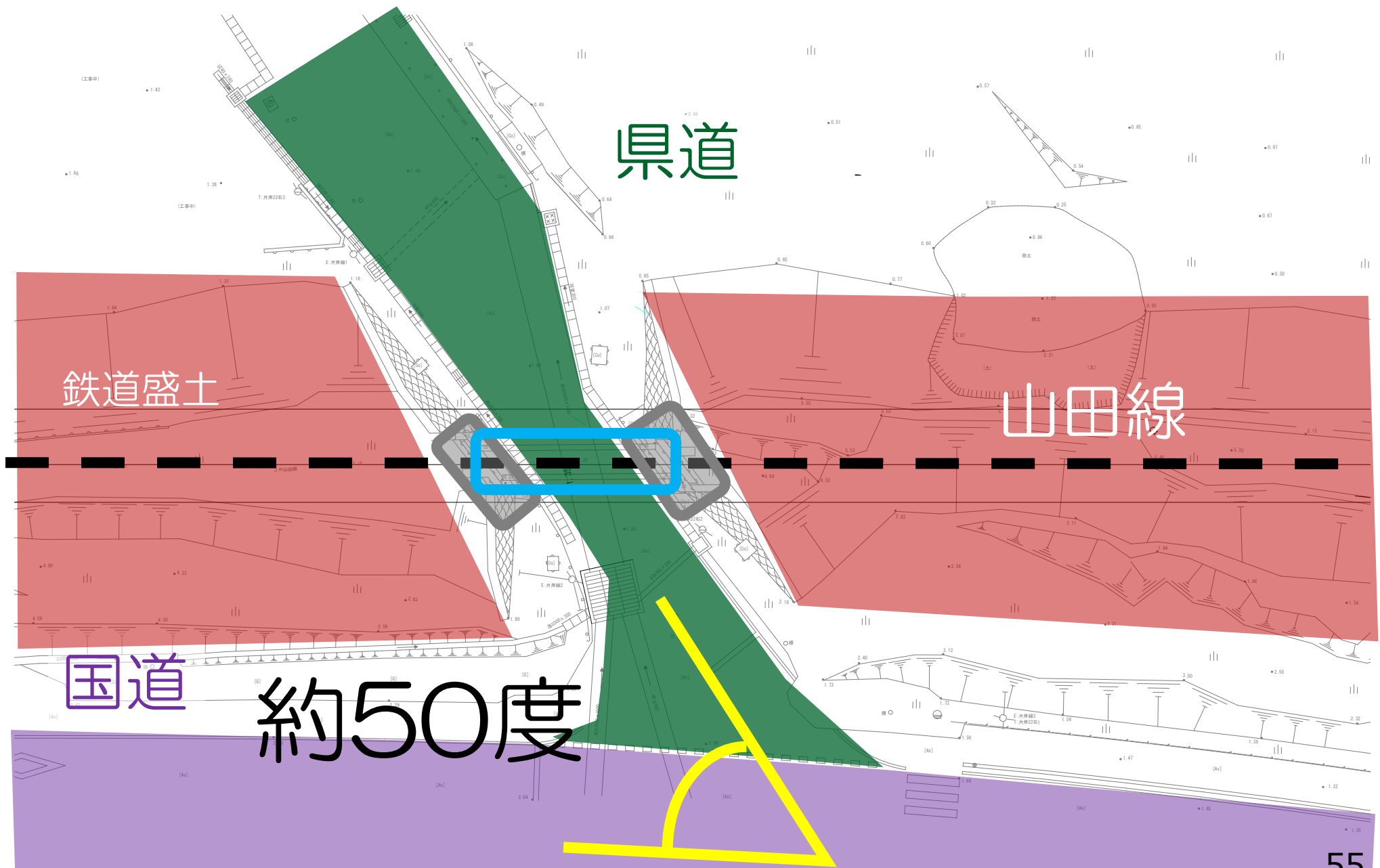
広域地盤沈下に伴い、国道・県道を約1m嵩上げ

①-2 新しい鉄橋



JR東日本盛岡支社工事発注済 H29秋完成目標

①-3-1 「元の」国道交差点



①-3-2

「新しい」 国道交差点

国道交差点の角度改善
50度→75度

県道

鉄道盛土

山田線

国道

約75度

② 道路工事の進捗

②-1 暫定開通

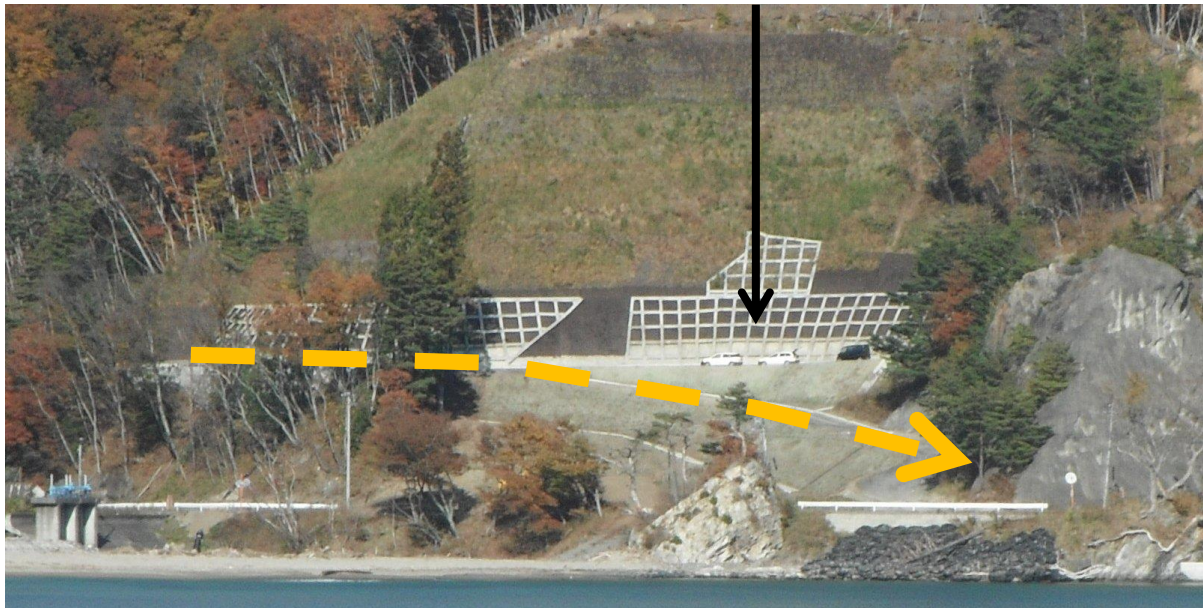
- H29春目標 「ツルイワ」まで

②-2 室浜トンネル開通

- H29秋～冬目標

②-1 暫定開通

暫定開通区間 (山切中) (室浜トンネル)



②-2 室浜トンネル開通



照明工事完了

H29秋～冬 目標 59

まとめ

① 鉄橋の改築

- 鉄橋完成 H29秋目標
- 国道交差点の角度改善

② 道路工事の進捗

- 暫定開通「ツルイワ」まで H29春目標
- 室浜トンネル開通 H29秋～冬目標

12. 意見交換
